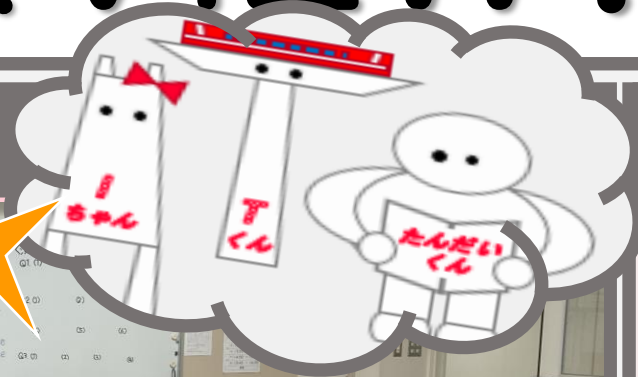


IT短大VIEW!



1 授業スタート!

夏休みが終わり、8月22日(月)から授業がスタートしました。これから山場となる前期考査と、基本情報技術者試験の合格に向け真剣に授業に取り組んでいました。



3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加え「社会人基礎力」向上のため、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

＜記事＞ 茨城新聞(2022年7月12日)
「投票率上昇も全国43位」

◇要約

●清和杏羽さん(茨城東高卒)

参院選茨城選挙区の最終投票率は47.22%で、過去四番目に低くなるという結果になった。若者の投票率低迷が課題となっているが市町村選管も大学や高校に期日前投票所を設置して投票率向上へのテコ入れをしている。

◇感想

●小松夏希さん(水戸桜ノ牧常北校卒)

私は選挙権を持っているから全ての選挙に参加してきましたが、同世代の人達と政治の話をした事がなく、関心の低さを感じる場面があります。投票率向上の為に、政治参加の意識醸成はとても大切だと思いました。

●青山莞大さん(下館工高卒)

若者の投票率の低さが問題視されている中で、自分の住んでいる地域の投票率が全国で43位であることに驚きました。今後の日本をより良くするために、若者の投票率を早急に上げなければならないと感じました。

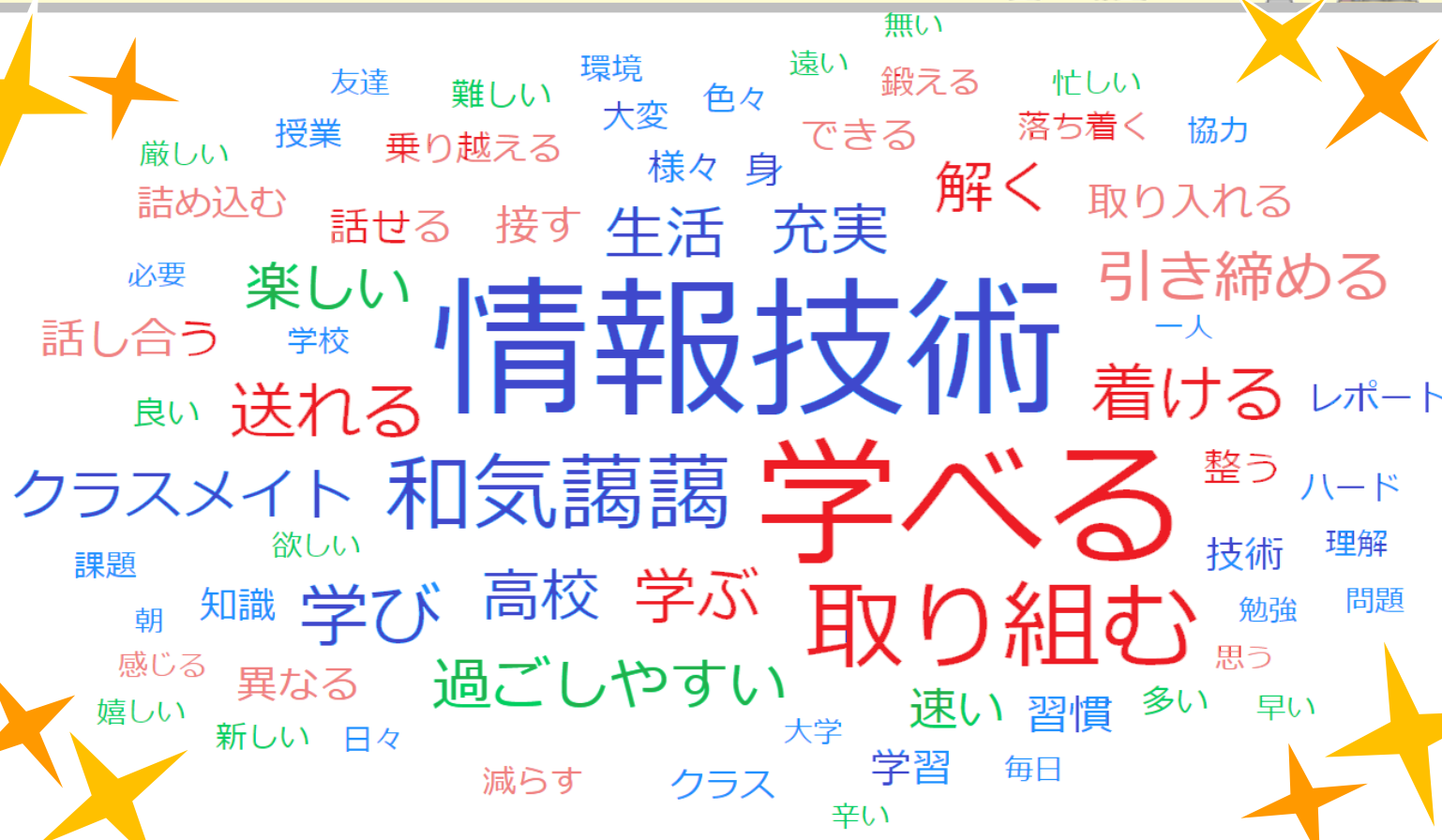
●藤森 駿さん(熊本県立玉名高卒)

IT短大でも、選挙に参加するように呼びかけがあったりして、投票率の上昇につながったと思う。今後も、短大だけでなく、他の大学でも同じような呼びかけがあるとより増えると思う。

●金澤羽美さん(石岡一高卒)

投票率が低い理由は、「選べない・興味がない」以外にも「日本が危機的状況ではない」という部分も大きいのではないかと考えた。危険思想の人物でなければいいと思うほどに日本は平和だからなのだろうと思う。

2 言葉で紡ぐ我が学び舎



本校における学びや生活等に関するアンケート「IT短大での学び」(第1学年対象)の調査がまとまりました。また、学生の声を、「テキストマイニング」※で分析しました。『情報技術』『学べる』『取り組む』が大きく目立ちます。

具体的な学生の声は「情報技術のプロフェッショナルに近づいているのを感じる」「情報技術だけでなく、精神も鍛えられると思う」とありました。続いて、『和気藹藹』『充実』『クラスメイト』などがあります。

学生の声は「友人と学びながら楽しい。とても毎日充実している」「色々な人間がいるので楽しい。講義も充実している」とありアットホームな雰囲気伝わります。

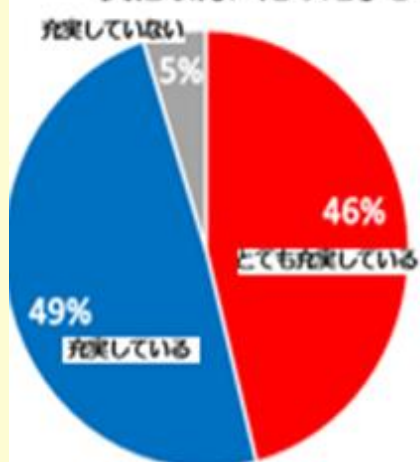
※【テキストマイニング】

言葉の頻出順が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさに図示しています。

単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

日本語分析のため「IT」は「情報技術」としました。

資格取得に向けた学び



専門技術の学び

